

オーバルネクストETF情報

2011年2月28日号



TEL 03(5641)5777

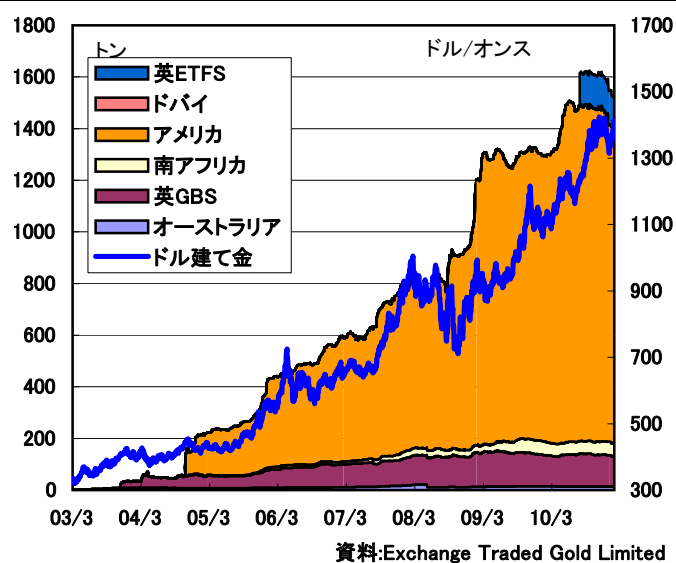
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 Oval Next Corp.

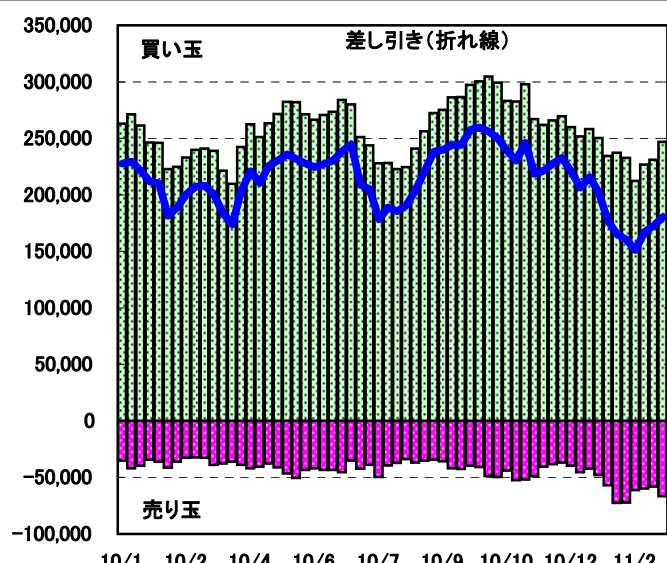
ETF残高減、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はリビア情勢の緊迫化や原油急騰が支援要因

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、2月22日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは18万0,424枚となり、前週の17万2,844枚から拡大した。今回は新規買いが1万6,024枚、新規売りが8,444枚入り、買い越しを7,580枚拡大した。一方、25日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比11.53トン減の1211.57トンとなった。リビア情勢の混乱をきっかけに原油が急騰し、金の支援要因になったが、米景気回復期待も強く、戻り面で売られた。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に史上最高値1430.09ドルを付けた。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、1月28日に昨年10月1日以来の安値1308.12ドルを付けた。2月に入ると、エジプトの政情不安や世界的なインフレ懸念を受けて反発すると、リビア情勢の緊迫化や原油急騰を受けて1月3日以来の高値1417.99ドルを付けた。

リビアの混乱を受けて原油の供給懸念が出てニューヨーク原油は一時103ドル台を付けた。原油高が続くとインフレ懸念が高まり、金の支援要因になるとみられる。一方、米経済指標はおおむね好調であり、景気回復期待が強い。株価は一時的に急落したが、株高が続くと、金の上値が抑えられる可能性もある。今週は週末に2月の米雇用統計の発表などがあり、労働市場に対する見方を確認したい。

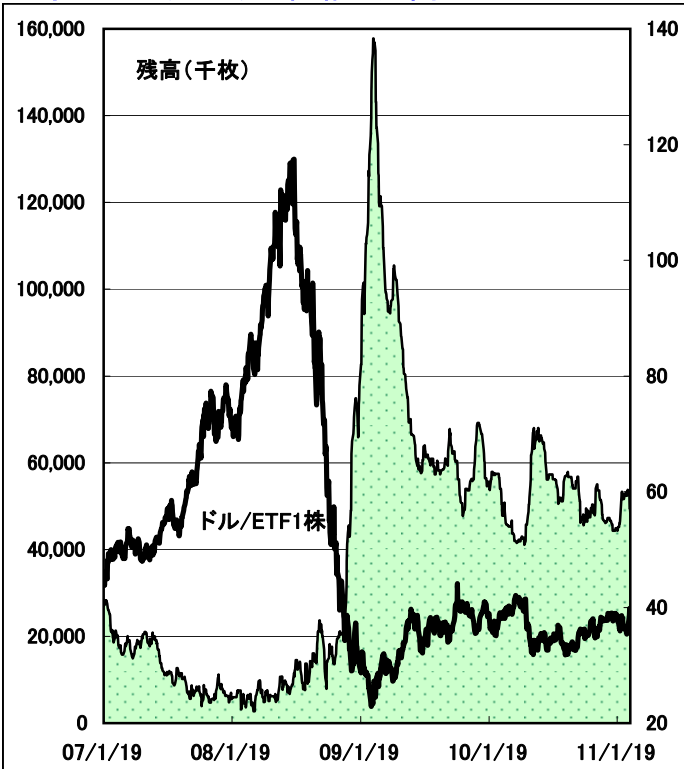
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月26日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

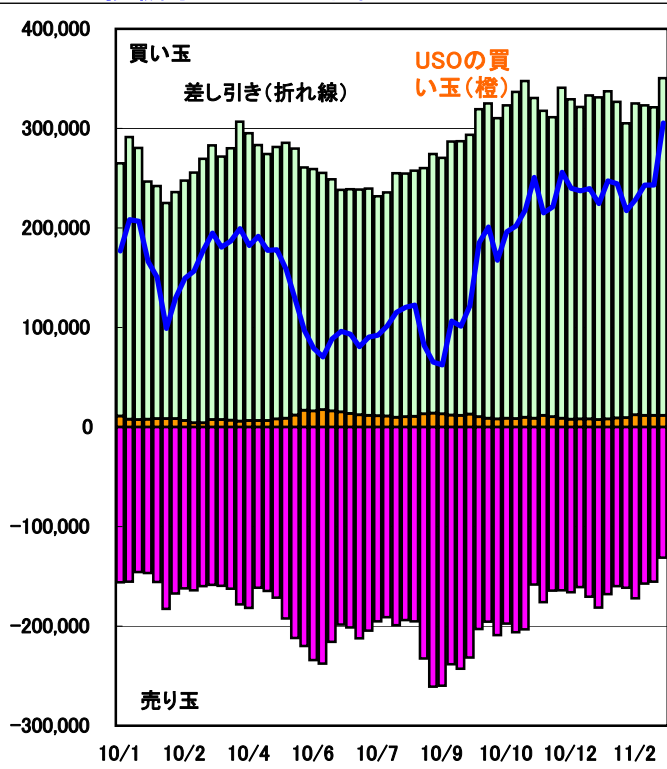
ETF残高減少、NY先物買いは過去最高

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は2月25日時点で4,850万株となり、前週末比530万株減少した。ニューヨーク原油はリビアの供給懸念をきっかけに急騰し、一時103ドル台を付けた。カダフィ大佐死亡のうわさをきっかけに急落し、値動きの荒い展開となった。

USOが先物市場についでいる原油の買い玉は25日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で9,608枚(前週末比2,143枚減)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,000枚(同変わらず)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、2月22日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は35万0,580枚(前週32万1,167枚)、売り玉は13万1,558枚(同15万5,653枚)で21万9,022枚の買い越しとなり、前週の16万5,514枚の買い越しから5万3,508枚買い越し幅を拡大し、過去最高を更新した。USOの買い玉は大口投機家の3.3%(同3.6%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万5,421枚(同5万3,774枚)、売り玉は2万2,893枚(同1万3,901枚)で3万2,528枚買い越し(同3万9,873枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の14.4%(同14.9%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/2/18	36.36	16,095,963	53,800	11,751	2,000	8,000	11/4
11/2/22	38.49	37,634,567	53,300	11,549	2,000	8,000	11/4
11/2/23	39.80	46,395,412	49,500	10,012	2,000	8,000	11/4
11/2/24	38.97	49,018,470	49,500	10,012	2,000	8,000	11/4
11/2/25	39.68	17,625,300	48,500	9,608	2,000	8,000	11/4

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

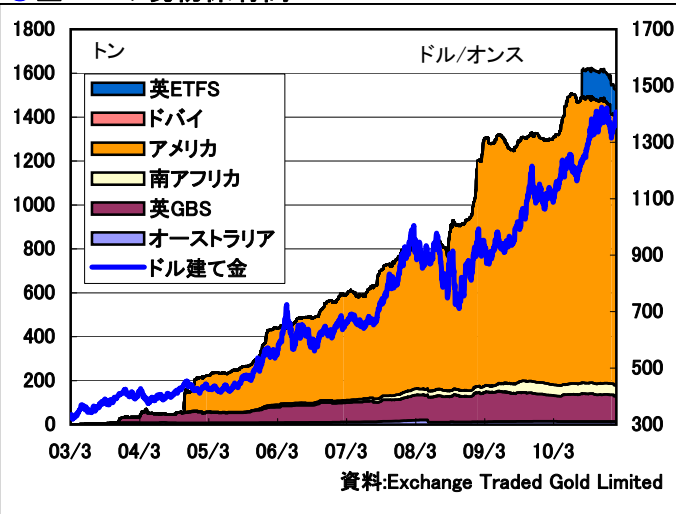
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月26日記)

<免責事項>

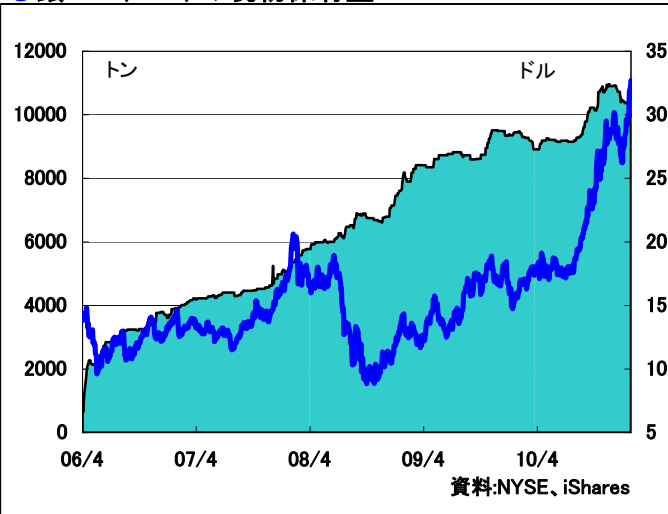
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFからの資金流出が続く

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、2月23日時点で1519.83トンとなり、前週末比4.93トン減少した。ニューヨークで4.86トン、英ETFSで0.06トン、英GBSで0.01トン、南アフリカで0.01トン減少した。リビア情勢の緊迫化を受けて原油が急騰し、インフレ懸念も出たが、米景気回復期待によるポートフォリオ組み替えや株価急落による証拠金絡みの売りが出た。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は23日は前週末比56.18トン増の1万0575.23トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が前週末比1.23トン増の888.05トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が横ばいの504.65トンとなった。ニューヨーク銀が逆ザヤとなり、31年ぶりの高値を付けるなか、工業用需要の増加期待などを背景に投資資金が流入した。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/02/17	14.21	115.57	121.78	49.51	1224.01	0.15	1525.23	1,384.48
11/02/18	14.21	115.64	122.15	49.51	1223.10	0.15	1524.76	1,387.80
11/02/21	14.21	115.64	122.09	49.51	1223.10	0.15	1524.70	1,406.55
11/02/22	14.21	115.64	122.09	49.51	1223.10	0.15	1524.70	1,398.88
11/02/23	14.21	115.63	122.09	49.50	1218.24	0.15	1519.83	1,411.58

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(23日現物保有は116.34トン)、米ETFセキュリティーズ(23日27.06トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(11日186.10トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/02/16	29.96	19,767,262	10,411.2
11/02/17	31.03	31,631,300	10,438.6
11/02/18	31.79	50,237,722	10,519.1
11/02/22	32.26	46,170,013	10,519.1
11/02/23	32.71	34,694,261	10,575.2

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 23日888.05トン、NY 23日504.65トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(11日2,407.58トン)。

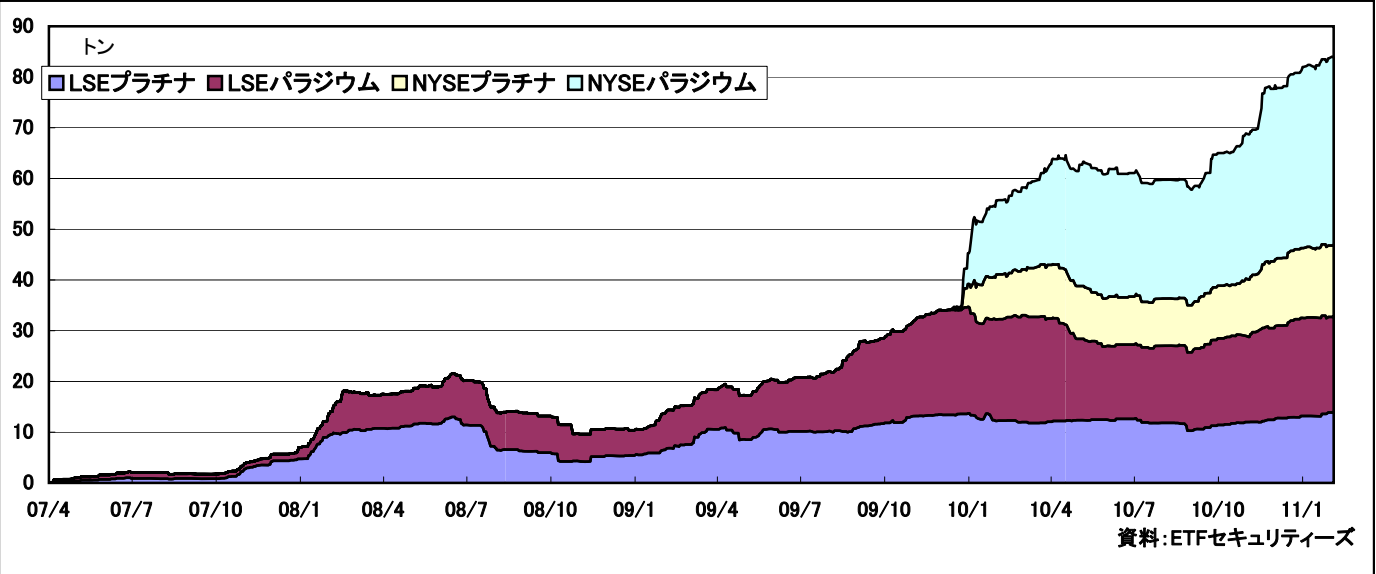
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月24日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

プラチナ・パラジウムETFの現物保有高は増加

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は23日時点でプラチナが14.06トン、パラジウムが18.86トンとなった。16日からプラチナが0.35トン、パラジウムは0.02トン増加した。原油高騰などを受けて株価が急落し、PGMもつれ安となったが、23日に安値拾いの買いが入った。

LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は23日時点でそれぞれ14.06トン、36.77トンとなった。15日からプラチナは横ばい、パラジウムは0.31トン増加した。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/02/17	13.87	18.84	886.81	129.57	14.06	36.93
11/02/18	13.87	18.84	886.81	129.95	14.06	36.93
11/02/21	13.87	18.84	886.93	129.95	14.06	37.24
11/02/22	13.87	18.84	886.93	129.90	14.06	37.24
11/02/23	14.06	18.86	888.05	129.94	14.06	36.77

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。11日はそれぞれ11.04トン、14.08トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/2月24日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。